

医療ソーシャルワーカーとして、教員として、 私が学生たちに伝えられるもの

教育の傍ら、スーパーバイザーとして週に一度病院の医療ソーシャルワーカーにスーパービジョン(専門的指導)を行っている浅野先生は、福祉臨床と教育両方の面から医療福祉を熟知しています。実践を踏まえた講義や演習は先生ならではの。そんな浅野先生をクローズアップしました。



金城学院大学 現代文化学部 福祉社会学科

浅野正嗣 教授

- 日本福祉大学大学院社会福祉学研究科 博士後期課程満期退学
- 専門分野/医療福祉論、社会福祉方法論
- 研究課題/保健・医療ソーシャルワーク、ソーシャルワーク・スーパービジョン

医療と教育の架け橋に

私の専門である医療福祉論と社会福祉方法論は、患者さんやご家族の相談を受ける医療ソーシャルワーカーという職業に繋がります。たとえば患者・家族の療養中の心理・社会的問題の解決・調整援助や、退院援助、経済的問題の解決、社会復帰援助などが主な仕事です。

大学を卒業してからすぐに医療ソー

シャルワーカーとして働き始めたので、今では約30年の経験があります。その間に医療ソーシャルワーカー協会や学会、研究会などにに関わりながら、ソーシャルワーカーとしての業務、知識、情報や、ソーシャルワーカー間のコミュニケーションの充実に努力してきました。

金城学院大学で教鞭を執るようになって6年が経ちます。教育に関わろうと思ったきっかけは、私自身

がもう少し社会福祉の勉強をしたかったことと、医療ソーシャルワーカーにとって大学での教育が大変重要であることに気づいたからでした。

私は現場と教育の架け橋のような役目を担っていると思うので、できるだけ実践的な例を学生たちに伝えるようにしています。どんなソーシャルワーカーになりたいかを具体的にイメージしながら勉強を進めていってほしいですね。

良き先輩との交流を持つ

ソーシャルワーカーの道へ進もうと思ったきっかけのひとつに、良き先生方に恵まれたことがあります。本学学長であり淀川キリスト教病院名誉ホスピス長でもある柏木哲夫先生もその一人です。初めて先生にお会いしたのは、医療関連の勉強会でした。先生の患者さんに対する謙虚な姿勢、その医療観に強い感銘を受けました。今ではこうして先生と同じ大学で仕事ができ、光榮です。

現在、金城学院大学医療ソーシャルワーク研究会を毎月開催して、大学生、卒業生、現役ソーシャルワーカーたちにも参加してもらい、交流を深めています。昨年は柏木先生にもおいでいただきました。学生たちにも先生との繋がりを少しでも多く持たせてあげたいですから。

病院での仕事はひとつずつ解決していくことができますが、大学では授業以外の業務もたくさんあるので終わりが無い仕事だと感じています。週末といえどもゆっくりできる時間は少ないですね。

忙しい中での唯一の楽しみといえ、愛犬アルバとの毎朝の散歩です。

私は犬が大好きで、犬のいない生活は考えられません。週末、時間があるときにアルバをきれいに洗ってあげることが私のストレス解消法なんですよ。

厳しいからこそ やりがいのある仕事

ソーシャルワーカーの仕事は、ただ優しさを持ってクライアント（来談者）と接すればいいわけではありません。笑顔で進められるケースばかりではありませんから、時には厳しさを持って臨むことも必要です。そういった難しさも学生たちに伝わればいいと思います。

臨床ではクライアントの援助業務に明け暮れますが、大学に来て学生たちと接していると、彼女たちの考え方の新鮮さに刺激を受けます。学生たちは純粋な気持ちと熱い思いを持っていますね。特に金城学院の学生たちは、卒業してからも熱心な姿勢で仕事に取り組んでいるように思っています。

ソーシャルワーカーの仕事には苦労がたくさんあります。どういった援助がクライアントにとってより良いのか、その援助は本当に最良の選択肢なのかを吟味しなければなりま



愛犬アルバ(シェパード)
メス5才

せん。相談に来たくて来るクライアントばかりではありませんし、患者さんご家族の間で意見が食い違うケースもあります。でも、クライアントが自立し、病気に立ち向かっていく姿を見ると、この仕事をしていて良かったなと心底思います。

学生たちには福祉臨床の素晴らしさと厳しさの両面を伝えていきたいです。楽しいことばかりではないけれど、そのぶんやりがいのある仕事だと思います。

浅野先生はこんな人



先生の指導はとても親切です。授業のあと質問をしに行くと、時間をかけて丁寧に教えてくださいます。私たちの見解に対しても「なぜそう思うのか」を追究してくださるので、自分の気づかなかった考え方や意見を発見できます。

ソーシャルワーカーとして経験豊富な先生は、理論に加えて具体例を出して授業を進めてくださいます。さらに、病院でスーパービジョンも行う先生からは刻一刻と変化する医療業務の傾向などを知ることができます。現場をよく知る先生は、近い将来ソーシャルワーカーになることを目標としている私たちの素晴らしいお手本です。

浅野先生とゼミの皆さん